

全学共通科目『七文字しりとり学』 期末定期試験

問1. 以下は七文字しりとりについて述べた文章である。あとの問いに答えよ。

七文字しりとりは、ただ互いの知性と経験のせめぎ合うゲームなのではなく、。様々な言語を翻訳するうえでの曖昧さ・不確実性をあらわにする、高尚な戯れなのだ、ということだ。したがって私はこのゲームが、こと言語学的見地からすれば、グローバル展開するのは容易ではないゲームと感じている。この性質を暗に示しているのが(b)ルールであり、すなわちアルファベットVの翻訳可能性を拡張した結果なのだと言える。このように言語は他言語を一意的に翻訳できない。それゆえ、。日本語という多様な表現に富んだ言語をベースにして完成した七文字しりとりは、外来語由来の単語を受容するために議論が必要だと考察できる。

—— 『Current opinions of Nanamoji-shiritori』 訳：ウォシュレット

- (1) 傍線部 a はどういうことを言っているのか、説明せよ。(配点：10 点)
- (2) 空欄 b に当てはまるものは何か。(配点：3 点)
- (3) 傍線部 c の論理の根拠となる具体的事例を、七文字しりとりにおける種々のミクロな問題に触れながら説明せよ。(配点：12 点)

問2. 「の」で終わる単語を4回与える七文字しりとりを展開せよ。ただし、開始単語は伝統に則ることとし、固有名詞は使用不可とする。(配点：15 点)

問3. 七文字しりとりストラテジーについて、以下のテーマに関して論じよ。

- (A) 二人プレイにおける単一文字攻めの意義とその方法論を提示せよ。(配点：15 点)
- (B) 「カウンター」を用いる意義、およびそれを用いる上で相乗効果となる因子について説明せよ。(配点：15 点)

問4. 現在七文字しりとりが直面している問題について、七文字しりとりオリエント期と現在との相違について触れながら論じよ。(配点：20 点)

問5. あなたが考える「美しい七文字しりとり界」とはどのようなものか。あなたの考えを自由に述べなさい。(配点：10 点)